

キャリア教育講演会（高千帆小学校）

高千帆小学校6年生が、本市出身の講師から『君たちはどう生きるか』というテーマで話を聞きました。暮らしが便利であることや都市であることなどが、必ずしも幸せを感じることにほならないこと、幸せかどうかを測る「幸せのものさし」は、人によって異なり一つではないこと、自分の気持ちや考え次第で前向きになれることなどを、講師自身の体験をもとに分かりやすく話されました。何を大事にしたいのか、暮らしを豊かにするためにはどう考えていけばよいのかというメッセージが、印象に残りました。



中学校見学（小野田小学校、須恵小学校、小野田中学校）

生徒会長が「中学校生活のことを知って、不安を少しでも減らしてもらえればうれしい」と歓迎のあいさつをした後、文化祭の合唱コンクールで金賞だった3年3組の合唱が披露されました。両校の児童全員は、美しく響き合う声をじーっと聴き入っていました。また、生徒が授業や行事、生徒会活動、部活動などについて説明する際にも、小学校と中学校との違いを確認していました。最後に、授業や部活動の様子を参観しました。このように小学生が中学校に入学する前に見学することは、不安の解消に役立つことと思います。



もちつき（埴生幼稚園）

「ぺったん、ぺったん、ぺったんこ」と全園児が歌うもちつき歌で恒例のもちつきが始まりました。以前は、園児の祖父母も参加しておりましたが、今では園児と職員だけで行っています。もち米は埴生小中学校の児童生徒が育てたもので、園児が前日にもち米を研いでおいたものを使用しました。園児のよいしょ、よいしょという力強い掛け声の中、年長児が蒸し上がったもち米を杵でついたり、職員が合いの手を入れたりしてつきあがりました。そして、熱々のもちにきな粉や砂糖醤油をつけておいしそうに味わっていました。

